

# CASBEE® 名古屋

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 評価マニュアル(2016年版、名古屋市の建築物環境性能評価システムマニュアル2016) ■使用評価ソフト: CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)東区白壁4丁目計画	階数	地上6F
建設地	名古屋市東区白壁4丁目51番52番	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域	平均居住人員	117 人
地域区分	6地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年6月 予定	評価の実施日	2020年10月26日
敷地面積	1,814 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	1,020 m <sup>2</sup>	確認日	2020年10月30日
延床面積	5,029 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Q のスコア = 3.1**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.4

### LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 白壁筋という名古屋有数の高級住宅街に堂々とした佇まいを形成するため、アウトフレームのグリットのデザインを採用した。 道路面には瓦屋根の門を設え、白壁筋に樹木がはみ出すように植栽をし、緑豊かな白壁にそぐう建物とした。		
<b>Q1 室内環境</b> 開口部にはLow-E複層ガラスを採用することで高い断熱性能を確保し、快適な住環境としている。また、シックハウス対策として全面的にF☆☆☆☆を採用している。	<b>Q2 サービス性能</b> 建物を長期利用できるように日本住宅性能表示基準「3-1劣化対策等級」における等級3を確保している。また、階高をできる限り確保し、広々とした天井高を確保している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 10%以上の緑化を行った。道路面にはみ出すように中木、高木を植栽することで近隣にも配慮した。さらに高木や中木を植栽することで、緑豊かな住環境を作ることを心掛けた。
<b>LR1 エネルギー</b> 建物外皮性能は日本住宅性能評価表示基準「5-1断熱性能等級」における等級4を満たし、一次エネルギー消費性能についても建物全体のBEIが0.88。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水コマや節水型便器の採用により環境負荷低減に寄与する。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率が一般的な建物(参照値)と同等。 ディスポーザーを設置し生ごみの軽減を行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

### 重点項目スコア・結果シート

(仮称)東区白壁4丁目計画

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2

■評価ソフト:

CASBEE\_Nagoya\_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.7
LR1	エネルギー	3.8	0.4	/
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.9	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				3.1
Q3.1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	/
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	有	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会				3.0
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	/
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.0	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.3	0.01875	

### 結果

#### 1. 温暖化対策

評価点 = 3.7



#### 2. 自然共生

評価点 = 3.1



#### 3. 循環型社会

評価点 = 3.0



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。